

FUKUOKA YOUTH TIMES

福岡地区青年会
広報誌 第6号
四旬節号
† - † - † - † - †
発行日：2015.3.31
発行元：福岡地区
青年会広報係

～谷川の水を求めてあえぎさまよう鹿のように～

皆さま、お久しぶりです。四旬節号では、福岡地区青年会と青年会にまつわる人々に、「思い」をつづっていただきました。

特にこの半年間の出来事や活動に関する「思い」を、たつぷりお届けします。

「キリシタン史勉強会」を振り返って

今年、2015年の日本の信徒発見150周年を迎えるにあたり、福岡教区青年会では、キリシタン史勉強会を開催しました。2014年10月から2015年2月にかけて、計5回の勉強会を実施しました。

第1回は、上智福岡中等高等学校から深堀伸一先生が来てくださり、キリシタン史を学ぶ際に大切にしたい観点を解説してくださいました。自分が、信仰上影響を受けた人物や共同体のことを「信仰の祖先」と呼ぶこと、キリスト教伝来か

ら続いてきた信仰の系図の一部である私たちは、先祖から受け継ぐだけでなく、後世に伝えつないで行くために学ぶのだということ意識する必要がありますとお話いただきました。第2回は、青年会のみならず福岡教区全体を対象として、『夏の祈り』という長崎の信仰と原爆を題材にしたドキュメンタリー映画を上映しました。

被爆者の方の、胸の内では強く平和や被爆死した方のことを思いながら、静かに祈る日常の姿と、年に数回子どもたちのために上映する「被爆劇」にて、自由が利かなくなつた身体を奮い立たせて渾身の演技をする姿に、涙する観客の姿も見られました。

第3回から第5回は、講師をお招きし、長崎と天草・島原のキリシタンの歴史について講義をしていただきました。長崎大司教区古巣馨神父様は、長崎や天草・島原の禁教令につい

て取り扱う際に、神様が場所にと与えた使命、すなわち「土地の召命」を考えずして通れないことをお話ししてくださいました。また、フランススコ・ザビエルの宣教活動での絶望など、普段はスポットライトが当たらない、歴史の偉人の生々しく人間らしい姿について解説してくださいました。望洋庵の溝部脩司教様は、キリシタンたちが祈りや儀式などの形式のみならず、黙想などによって信仰の本質を見失わないでいられたこ



とで、260年もの間、信仰を守り抜いて来られたと説明してくださいました。また、勉強会の終わりの祈りでは、司教様ご自身の青年司牧に対する自省や希望をお聞かせいただき、参加者一同胸を打たれました。勉強会終了後は、もつ鍋を囲んで夕食もともにして下さり、勉強会の感想を分かち合うことができました。新田原教会の牧山美好神父様は、天草・島原は「信仰のゆりかご」と呼ばれるほど温かく信仰が育まれた土地であること、今でもなお禁教令時代の貴重な資料が、身近なところにとくさん残っていることなどをお話してくださいました。

今回の勉強会で、全てを十分に取り扱うことはできませんでしたが、そのきっかけにはなつたのではないかと考えています。九州の教会に属する私たちが、九州で守られ続けてきた信仰

や祖先の姿を知ろうとする
ことは、現在の教会共同体
や、自分自身の在り方を考
えることに繋がり、さらに
祈りへと広がるかもしれま
せん。信徒発見から150年を
迎える今年、浦上の信徒が
プチジャン神父様に「ワタ
シノムネ、アナタノムネト
オナジ」と信仰告白したよ
うに、今の私たちが少しで
も感じられるよう、学び、
祈り続けていければと思
います。

磯野 沙月(浄水通教会)

昨年も開催しました!

FYCC12.5

去る11月2・3日、北九
州地区の新田原教会にて中
高生向けキャンプ・FYCC
C12.5が開催されまし
た。福岡市・北九州市など
から中高生たち20人ほど
が集まり、レクリエーショ
ンを楽しみ、ともに祈り、
食事をし、とても中身の濃
い1泊2日を過ごしました。



元々は夏に開催される予
定だったFYCC12でし
たが、開催直前に台風接近
のため、やむなく中止を決
定。FYCCが始まってか
ら12年目で初めての中止
となりました。それまでキ
ャンプを準備してきたスタ
ッフや、開催を心待ちにし
ていた中高生にとってはと
ても残念なことでした。
ですが、直前まで準備し
てきたレクリエーションや

お祈りなどがあるので、
どうにかしてまたキャ
ンプをしたい。このま
まで終わらせたくない
という代表・副代表の
思いから、初めての北
九州地区で、FYCC
12.5を開催すること
を決め、ふたたびキャ
ンプに向けての準備が
進められてきました。

〜1日目〜

当日は大名町教会か
らマイクロバスにて送
迎があり、多くの中高
生たちはバスの車内でレク
を楽しみながら新田原に到
着。また、地元の中高生た



ちは直接新田原に来てくれ
ました。一方、開催場所と
なる新田原教会と隣接する
テレジア館では青年スタッ
フたちが中高生を迎える準
備をしており、厨房ではお
母様方のご協力のもと、夕
飯の準備が進められ、ホー
ルでは受付準備が着々と進
んでいました。

15時、参加者が集合して
いよいよキャンプ開始。お
世話になる新田原教会の牧
山美好神父様のお話と、代
表からのあいさつや諸注意
があったところで早速レク
リエーションで班のメンバ
ー同士で自己紹介。初めは
緊張もしていたようですが、
レクをするうちにすぐに打
ち解けていきました。

特に今回のレクリエーシ
ョンで盛り上がっていたの
が「BUNCO(バンコ)」。
3つのさいころを振って決
められた目をどれだけ早く
特定の回数出せるかを競う、
4人ひと組で行うゲームで
す。みんな必死になつてさ

いころを振り、回数を重ね
ますが、中には積み重ねて
きた回数がゼロに戻ってし
まう「ゾロ目」を出してし
まうアンラッキーなグルー
プもあり、かなり白熱して
いました。

班で打ち解けてきたとこ
ろで夕飯となりました。こ
の日のメニューはお母様方
特製のカレーとポテトサラ
ダ、さらに新田原教会の信



徒の方よりいちじくのゼリ
ーを頂き、とても豪華なも
のとなりました。その後は
近くの銭湯へお風呂に入り
に行き、眠くなるところで
すが、講話と分かち合いを

しました。

あつという間に夜になり、聖堂でテゼの祈りを捧げました。暗くした聖堂の祭壇の周りに集まり、置かれたろうそくを囲み、短い歌を繰り返して歌うこの祈りで心を神様に向けて一緒に静かに祈り、キャンプ1日目を振り返ることができました。

〜2日目〜

最終日はひんやりとした朝で始まりました。この日は朝の体操でいま流行りの「ようかい体操第一」をスタッフ参加者全員で踊り、朝の体操代わりにしました。前日のレクリエーションで踊っていたのでみんなぼつちり体を動かせたようです。朝ごはんの後で、それぞれロザリオを作りました。みんな器用にビーズを糸に通し、思い思いのロザリオを作っていました。

2日目にも講話と分かち合いがありました。

キャンプも終わりが近くなり、最後のミサとなりま

した。司式は宮原司教様で執り行われ、新田原教会の信徒のみなさんもお昼の間帯にもかかわらず多くの方が参列してくださいました。ミサ後には司教様を囲んでの記念撮影も行われました。

昼食を最後にみんなで取って、2日間を過ごしたテレジア館の掃除をしたのちに解散式を迎えました。このときに中学・高校を通し



て6年間キャンプに来てくれた参加者の皆勤賞を表彰しました。代表、副代表、指導司祭である中村神父様

のあいさつの後、最後にキャンプのテーマソングである「なかま」をみんなで輪になって歌い、キャンプは終了しました。

1泊2日は本当に短く、またその分中身も濃いものとなりましたが、次回こそはまた、夏に、再び神学校で開催したいものです。

♪♪♪♪♪

参加してくれた中高生達の感想を少しご紹介します。

Q 今回のキャンプで、心に残ったものは？

- ・ 全部
- ・ レクリエーションで
- ・ 妖怪ウォッチ体操
- ・ バスの中
- ・ などなど。

Q FYCC 12・5に参加して思ったこと、感想

・ 夏が中止になってしまつて、11月だから少し人数が少ないのかなあと思つたけれど、たくさんの方が他の教会から来ていて仲良くなれたのでとっても楽しか

った。初めての参加で緊張していたけれどスタッフの皆さんが笑顔で接してくれたからうれしかった。特に同じ班の人とはレクでも一位になれたし、掃除を最後まで協力できてとっても楽しかった。

・ 初参加でとても緊張していたけどドキドキ、心配だったので、みんながとても明るく、優しく接してくれて「おいで！」とか、「一緒にしよ！」とか言ってくれたからすごくなじめて楽しかった。

・ 前回自分が参加したFYCCも1泊だったので2泊のFYCCと、FYCCに参加したい。とにかく楽しかったしいろいろな事、人言葉に出会えてよかった。

Q 今後のFYCCについての要望

- ・ また新田原でやってほしい!!
- ・ BBQ
- ・ やっぱり2泊がいい
- ・ 体を動かすプログラム



中高生向けイベントも開催 FYCC 12・5 報告会 & 中高生わっしょい☆

先月8日、FYCC 12・5の報告会も兼ねて、「中高生わっしょい」が開かれました。「中高生わっしょい」は、FYCCだけではなく、福岡地区の中高生たちがまた集まり、レクをしたり祈ったりして交流してもらおうという中高生向け企画です。

今回は光丘教会で行われ、大名町・笹丘・糸島・光丘・直方・浄水通などの教会から中高生・青年があつまり、レクリエーションやお菓子パーティーなどで交流を深めていきました。

F Y C C 12・5の様子を
スライドショーで上映し、
最後に教会の聖堂で祈り、
テーマソングである「なか
ま」を歌ってこの日は解散
となりました。

キャンプ以外でも、こう
して同じ信仰をもつ、自分
の教会以外の中高中生と触れ
合える場を作って、親睦を
深めてほしい。企画の準備
をしてくれた、光丘の青年
のみなさん、スライドショ
ーを作ってくれた糸島教会
の篠原くん、ありがとうご
さいました！

.....
チューサーに参加して。

笹丘教会・峯晶子



2月の第2火曜日、私は
チューサーに久しぶりに参
加した。恥ずかしい話だが、
数年前に参加して以来、チ
ューサーにはほとんど参加
したことがなかった。そも
そも、「チューサー」とは何
かを知らない方もいらっし
やると思う。福岡地区青年
会では、信仰養成係(別名..
ひつじ団)があり、定期的に
青年向けの勉強会が第2火
曜と第4木曜の夜に開かれ
ていた。そこから、「火曜日
(チューズデー)」と「木曜
日(サーズデー)」の文字を
とって「チューサー」と呼
ばれている。現在は第2火
曜日の夜に「マルコ福音書
を読む」ということで幼き
イエス会の修道院(浄水通
り教会隣)で行われている。

二年前から平尾千衣子さ
ん指導のもと、「マルコ福音
書」を1節1節読み解いて
おり、この日は丁度、最後
の晩餐、受難の直前まで読
み進められていた。

この日の参加者は9名。

たまたま福岡を訪れていた
韓国の青年も(しかもこの
日初めて千衣子さんにお会
いして参加した)一緒に読
み進めた。



まずは祈りから入り、聖
書を少しずつ読んでいく。

読み終わると千衣子さんか
らそれぞれの節の解説があ
る。これまであまり気にせ
ずに読んできた聖書の箇所
も、じっくりと読んでそれ
ぞれに解説がつくとまた違
った見え方ができた。読み
進めてからここまでといわ
れるまで勉強をしていたの
だが、あつという間に1時
間が過ぎていた。

最後に今日読み通した福
音の箇所で自分の気になっ
たところや感想を分かち合
う、「気づきの分かち合い」
をして、日々の自分の生活
と信仰を見つめなおした。

少し堅苦しいイメージが
あったので敬遠されがちだ
ったが、聖書を細かく読む
姿が見えてくる。イエスさ
まが最後の晩餐をしていた
時は実はテーブルやいすと
いったものはまだなく、寝
転んで食事を取っていたな
どは、きっと聖書を読んで
いても分からないだろう。

教会の暦の上でも四旬節
に入っている。チューサー
で読んでいるのも受難のシ
ーンに入ってきた。この機
会に一度でもイエス様の受
難の背景や使徒たちの行動
当時を生きていた人々の生
活や習慣を理解してみるの
はどうだろうか。きっとこ
れまでとは違った見え方が
できると思う。

全国の青年たちと共に

N W M in 横浜

去る2月14・15日に静
岡県の天城山荘にて第28
回ネットワークミーティン
グが行われ、福岡教区から
は3名の青年が参加しまし
た。

新幹線で片道5時間半か
かりましたが、全国各地か
ら集まった150名あまり
の青年たちと共に「イエス
様と天城越え」のテーマの
下にとっても濃い2日間を過
ごしました。

今回は参加者の1人、峯
綾子さん(笹丘教会)に、
“N W M・2回目参加”イ
ンタビューをしました。





Q1. 今回の参加を決めたきっかけは？

A1. しばらく日本を離れるので、日本での思い出作りと、なかなか行けてなかった従兄弟との小旅行へ！と思い、参加しました。

Q2. 何を期待して参加されましたか？

A2. 人見知りを克服するために笑

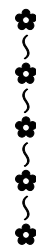
普段はあまりないのですが、大勢のなかに飛び込むとどうしても消極的になる傾向があるので。それと、多くのカトリック信者さんとの新しい出会い、絆、そして世代を超えた関わりをしっかりと参加しました。

Q3. 参加して印象に残ったことは？

A3. 初めて出会った人でも、すぐに打ち解けあって、すごく深い分かち合いが出来ました。

Q4. 青年のみんなにメッセージをお願いします！

ネットワークミーティングは自分の都道府県以外の仲間と出会えるチャンスです！今後の自分達の教区の活動へ参考になるし、一生の友達が出来るともしれません。行ったことない人は是非参加することをおすすめします！



次回は2015年9月19日から21日の2泊3日で、千葉県(東京教区)にて開催の予定です。申込受付は既に始ま

NWM のことなら
「カトリック青年
連絡協議会」HP
へGO♪
<http://catholicyouth.jp>

っています(申込み締め切りは7月31日)。全国の青年たちと話をしてみたい、わいわいしたいと

という青年の皆さん、思い切って参加されてみてはいかがでしょうか？

■活動報告■

2014年度後半、こんなことがありました。一気に紹介します！

◇九州青年キャンプ

in 鹿児島
(8月23～24日)

九州内の青年が集まる年に一度のキャンプ(交流会)です。持ち回りで開催されています。2015年は大分教区(大分県・宮崎県)で開催予定です。

◇NWM in さいたま

(9月13～14日)

ネットのN、ワークのW、ミーティングのMで、NWM(ネットワークミーティング)です。全国各地から約100～150人が集まる半年に一度の一大イベントです。

教会にはこんなに多くの仲間がいる！と体験する貴重な機会です。NWMをきっかけに日本全国、世界へとつながっていく青年は数多くいます。

◇定例会(10月5日)

10月～12月……地区青年会では年5回(4月、7月、10月、1月3月)、定例会を開催しています。

このときは「黙想会をしたい」と案を出したり、NWM参加者からの報告があったり、3か月ぶりの情報交換ができました。

◇キリシタン史勉強会

(10月5日)

定例会に引き続いて開催された第一回目の勉強会。この日のテーマは、『歴史を学ぶ』ことについて考える』でした。

信仰を守り伝えてきた人々と直接の血縁関係はなくとも、「信仰の祖先」とし

てつながっていることを感じ、考える時間になりました。

◇晩餐会(10月29日)

一緒に夕飯を食べるために集まる晩餐会。今回は十時神父様のお誕生日会(あいにくご本人は不在)を兼ねて開催いたしました。

ベースデーソング付のフライドショーを作成し(ゆみかちゃん、ありがとう!)その後、神父様にお送りしました。喜んでいただけたら嬉しいです。



◇FYCC 12・5

(11月2～3日)

秋も深まる11月、北九州は新田原教会にて、福岡ユ

ースカトリックキャンプを
開催しました。詳細は2
3ページへ。

◇キリシタン史勉強会

「夏の祈り」上映会

(11月2日)

あいにくFYCCと重な
りました。福岡教区全体
に呼びかけ、上映会が開催
されました。

◇思ひ出アルバム作り

(11月9日)

さまざまな機会に撮影し
た思い出の写真を保管する
アルバム作りに着手しまし
た。思い出話についつい花
が咲く楽しい時間になりま
した。ただ、アルバムの完
成にはもう少し時間がかか
りそうです。

◇教区の日 (11月24日)

地区青年会から2名が、
「自分の信仰とは」という
テーマで分かち合いをしま
した。

福岡教区内から集まった、

たくさんの人々の胸を打つ
話でした。

◇キリシタン史勉強会

(12月14日)

第3回目は、古巣神父様
を講師にお迎えして開催さ
れました(1ページ参照)。

◇クリスマス会

(12月28日)

忘年会も兼ねたクリスマ
ス会、今年も多くの人が参
加しました。地区青年会の
ブログから抜粋でその模様
をお伝えします。

仕事が終わってからの参
加だったので、途中参加と
なりましたが、始めに行わ
れた光の集いでFYCCの
ロウソクが使われてたみた
いで、祈り係としては嬉し
かったです(笑)

そして、パーティー開
始!

立食形式のはずが、しっか

り食べるためにみんな座り
始め：それぞれのテーブル
で各々盛り上がってしまし
た(笑)

途中でミニゲームもあり
ました!

五つのサンドイッチの中に
一つだけ激辛サンドイッチ
が入っていて、それを食べ
た人をみんなで当てるとい
うものです。

ゲームは二回行われまし
たが、みんな演技が上手で
なかなか見破れませんでした!
(二回目は笹丘教会の
まやちゃんが登場しまし
たが、辛いものが得意とい
うことで全然効果がありま
せんでしたw)

そして、恒例のプレゼン
ト交換!

五百円でプレゼントを選
ぶのはなかなか難しいです
が、みんなのセンスが光つ
たプレゼントが用意されて
いました。

ちなみに私はミニ鏡餅と

♪ 末年チョコをいただきました



2015年もよろしくお願いします!

最後は、12月29日が誕生
日の峯晶子ちゃんにバス
デーケーキのサプライズ!
そして、みんなで美味しく
ケーキをいただきました
(笑)

こんな感じで青年会メン
バーで楽しい年末を過ごす
ことができました。準備や
計画してくださった青年の
みなさん、そして神父様、
ありがとうございました!
(大上友里・光丘教会)

.....1月~3月.....

◇キリシタン史勉強会

(1月18日)

第4回目は溝部司教様が
講師とあって、30名を超え
る参加者でした。

溝部司教様の静かだけれ
ども心に響く言葉の数々に
接し、一人ひとりが自分の
信仰について考える時間
でした。参加した青年は、「キ
リシタンへのむごい弾圧が
あった歴史を初めて知り、
衝撃を受けた。」との感想を
語ってくれました。

◇定例会 (1月25日)

新しい年の定例会は、光
丘教会からスタートです。
主に中高生との活動につ
いて、話し合いをしました。

◇中高生わっしょい☆

(2月8日)

FYCC以外でも中高生
が集まる場を作ろう!と始
まった青年企画です。

今回は、光丘教会でFY
CC報告会を兼ねて開催し、

中高生、青年、約30名が集まりました(3ページ)。

◇NWM in横浜

(2月13〜14日)

幅広い広い横浜教区、静岡県は天城で開催されました。参加者インタビューをご覧ください(5ページ)。



◇日韓青年交流会

(2月20〜23日)

昨年、福岡に迎えた韓国の青年たちが日本からの参加者を待っていました。

全州で開催された「日韓青年交流会」では、再会を喜び合い、また新しい出会

いをいただき、お恵みをした。皆さん受けて帰ってききました。

来年は日本(東京教会管区)で開催予定です。



◇キリシタン史勉強会

(2月22日)

とうとう最終回。牧山美

好神父様を講師にお迎えし、天草・島原のキリシタン史についてお話を聞きました。

長年、天草の大江教会・崎津教会で司牧なさった神父様から、現地にまつわる

エピソードを伺い、「信仰の祖先」のを知り、自分の信仰生活について考える時間になりました。

◇定例会&送別会

(3月8日)

これまで福岡地区青年会を様々な形で支えてくれた役職者や係の変更が行われました。

特に大きな変更は、会長の交代です。6年間会長を務めてくれた豊嶋仁さん(大名町教会)から、大澤惠李さん(光丘教会)にバトンが引き継がれました。



豊嶋仁さん、お疲れ様でした。今まで本当に本当にありがとうございました。

大澤惠李さん、よろしくお祈りします。これからも共に歩いていきましょう!

ほんの紹介。
〜気になる本
少し紹介させて下さい。〜

『ユスト 高山右近

いま降りていく人へ』

古巣 馨・著



(ドン・ボスコ社発行) 二〇一五年という年は私

たちが忘れてはならない種々の記念の年となっています。3月17日は信徒発見150周年、8月15日は戦後70周年、8月16日はドン・ボスコ生誕200周年です。そして、2月3日は、昨年の大河ドラマ『軍師官兵衛』にも登場した高山右近の殉教400周年に当たります。高山右近(洗礼名はユスト)は、戦国時代に行きたキリシタン大名で、現在列福運動が積極的にすすめられていま

す。同じ戦国時に生きた武将たちから一目置かれながらも、一人のキリシタンとして生き方を選び、あえて「降りていく道」をたどった

右近。右近の生きざまは、私たちに勇気と希望を与えてくれます。

幸 真宏(笹丘教会)

《記念写真館》

福岡の地から旅立つ3人。今までありがとう!そしていつてらっしゃい!



うちのチャペル紹介



雪の聖母聖堂

福岡市天神から西鉄電車の特急に約30分間乗れば、そこは久留米市の中心部。

今回ご紹介する「雪の聖母聖堂」は、久留米市の聖マリア病院内にあり、入院通院中の患者さんやそのご家族ご友人、そして職員の祈りの場となっています。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、この煉瓦造りの聖堂は、一八九六年から大名町教会の初代聖堂として大名の地で親しまれていました。現在のカタドラル建設に伴い、取り壊しもやむなしとなったところ、当時聖マリア病院の創設者で病院長・理事長であった井手一郎先生が、

聖マリア病院への移築を引き受けてくださったのです。

現在、病院常駐の司祭(チャペレン)はいらっしゃいませんが、久留米教会の神父様をはじめ、多くの神父様が行われています。また、十二月には移築の際に新たに設置されたパイプオルガンのコンサートが行われ、百名を超える方々がお越し

くださっています。患者さん、ご家族にとって心の安らぎの場として、聖マリア病院になくはならない場所です。

光ふりそそぐ静かな聖堂で、ご聖体のイエス様と共に過ごすひとときをどうぞ。

—住所・開放時間—

*久留米市津福本町四二二
*毎日午前8時〜午後6時

【編集後記】

桜の開花宣言を聞きながらの編集作業です。前回から間があいてしまいましたが、まとめて振り返ることで、いかに日々たくさんさんの恵みと導きの中にいるのかを感じることができました。

この春、旅立つ青年の皆様のおかげに神様の豊かな祝福がそそがれますように。福岡からお祈りしています。

☆青年メンバー募集☆

地区青年会にはいろんな係があります。

一緒に青年会を盛り上げませんか？

- ・広報係(広報誌作り)・情報管理(HPやデータの管理)・資料管理(資料や写真の整理)
- ・信仰養成(青年の信仰をよりよくするための活動)・記録(青年活動をブログ掲載)

<福岡地区青年会 今後の主な予定>

◇4月12日(日)15:00~

奉助祭、司祭叙階式@大名町教会

※福岡教区、待望の司祭叙階式です。

皆で集い、盛大にお祝いとお祈りしましょう!

◇4月19日(日)15:00~17:00

定例会@大名町教会

※新年度最初の集まりです。初めての方もお久しぶりの方もぜひご参加ください!

◇4月29日(水・祝)10:30~16:00

中高生スポーツ大会(FSF)@神学院、★お昼持参

※申込みは、教会・名前・年齢を明記のうえ、er117ce@gmail.comまで。4/19(日)締め切りです。

◇5月31日(日)14:00集合

新青年歓迎会@大名町教会

※新しく青年会に加わるメンバーを迎えます。

この春、高校を卒業した人、就職・転勤・進学で福岡にいらした皆様をお待ちしています。

◇7月31日(金)

ネットワークミーティング(NWM)in 東京申込み切

※定員120名(予定)です。詳細はFBのページをご覧ください。⇒「29th NWM in Tokyo」

-----★お気軽にお問合せください★-----

福岡地区青年会

・E-mail: fukuoka.info@gmail.com

・ブログ「FYCB」: http://ameblo.jp/f-ttk/

・Facebook: 「カトリック福岡地区青年会」

福岡教区 HP「青少年活動」

・http://fukuoka.catholic.jp/youth.html

※地区青年会広報誌が読めます!

~神よ、わたしはあなたを慕う(詩編 42)~